

5月25日：好決算銘柄を中心にベトナム株は上昇

ベトナム株は順調に上昇を続けた。アジア株が振るわない動きの中でも、好決算銘柄を中心として買いが集まった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.74%高の859.04ポイントで取引を終えた。

同指数は先週合計で3.11%の上昇を記録していた。

ハノイ取引所のHNX指数も2%近い上昇を記録し109.15ポイントで取引を終えた。

同指数は先週1.81%ほど下落していた。

出来高は3億5600万株で売買代金にして6.45兆ドンであった。

米国と中国の間での政治、経済の両面での衝突に関するニュースによってアジア株式市場は下落していた。

証券、鉱業・エネルギー、小売、不動産、飲食料品などは最も大きく下落した。

それらのセクター指数は0.8-1.8%高となった。

大型株が指数を牽引した。VN30指数は0.51%の上昇を記録した。

VN30指数採用銘柄の中では17銘柄が上昇し、流動性も増加、8銘柄のみが下落した。

ビナミルク(VNM)、SSI証券(SSI)、ビンコムリテール(VRE)、モバイルワールドインベストメント(MWG)、ベティンバンク(CTG)などが相場を牽引、それらの銘柄は1.1-2.8%高となった。

アナリストによると、新型コロナ禍でも好決算を発表した銘柄に買いが集まったとのことであった。

ベトキャピタル証券のクイン氏によると、好決算を発表しておりリスクマネジメントがしっかりと出来ている企業は反発が大きいと思われるとのことだった。

公益事業、不動産、銀行がその筆頭であると同氏は語った。

ユアンタ証券のアナリストによると、飲食料品セクターも投資家にとって良い選択となるだろうとのことだった。

個別の材料があった銘柄も上昇した。

キドグループ (KDC) は 0.7% 高、キド冷凍食品 (KDF) を合併させる案を発表してからのことだった。

KDF は 6.67% 高のストップ高水準まで上昇した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。